

2025年3月期 第3四半期 連結決算の概要



株式会社有沢製作所

2025年2月6日

目次

- 2025年3月期 第3四半期 連結決算
- 2025年3月期 業績予想
- 参考資料



(百万円)

	24年3月期 3Q 実績	25年3月期 3Q 実績	前年 同期比
売上高	30,859	37,782	+22.4%
営業利益	648	3,812	5.9倍
営業利益率	2.1%	10.1%	--
経常利益	718	4,089	5.7倍
当期純利益	981	3,004	3.1倍
一株利益 (円)	29.64	90.43	3.1倍
為替レート (円/\$) 平均	138.24	151.46	--
期末	141.83	158.18	

- ・ 連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、前年同期比69億22百万円（22.4%）の増収。
- ・ 営業利益は、売上高の増加とそれに伴う操業度向上により同31億63百万円（5.9倍）の増益。
- ・ 経常利益は、同33億71百万円の増益。
- ・ 当期純利益は、同20億22百万円の増益。

	24.3月期 3Q実績	25.3月期 3Q予想 (11/7)	25.3月期 3Q実績	前年 同期比 増減	
売上高	30,859	37,600	37,782	+6,922	電子材料、産業用構造材料、ディスプレイ材料の増収による
売上総利益	4,993		8,932		
販売費及び一般管理費	4,345		5,120		
営業利益	648	3,500	3,812	+3,163	増収、製品ミックスの良化による
為替差損益	132	60	183		24.3月期は持分法による投資損失 47、 支払補償費 57を計上 25.3月期は助成金収入の増加 66を計上
その他営業外損益	-62	140	94		
経常利益	718	3,700	4,089	+3,371	
有価証券売却益	656		2		有価証券売却益の減少による
その他特別損益	-26		-1		
税引前利益	1,348	3,700	4,090	+2,741	
法人税等他	367	900	1,086		
親会社に帰属する四半期純利益	981	2,800	3,004	+2,022	

■ 貸借対照表



		(百万円)		
	24.3月	24.12月	増減	
(資産の部)				
流動資産	47,097	49,255	+2,158	売掛債権 +1,011 棚卸資産 +2,489
有形固定資産、無形固定資産	18,345	18,760	+415	設備投資による
投資有価証券	2,327	2,141	-186	
その他の資産	1,047	1,104	+57	
資産合計	68,816	71,260	+2,443	
(負債の部)				
流動負債	19,423	20,240	+817	買掛債務 +1,238 短期借入金 -1,301 未払法人税等 +556
固定負債	3,147	4,334	+1,187	長期借入金 +1,205
負債合計	22,570	24,574	+2,004	
株主資本	42,867	43,182	+315	利益剰余金 +276
その他包括利益合計、新株予約権	3,379	3,504	+125	為替換算調整勘定 +91
純資産合計	68,816	71,260	+2,443	

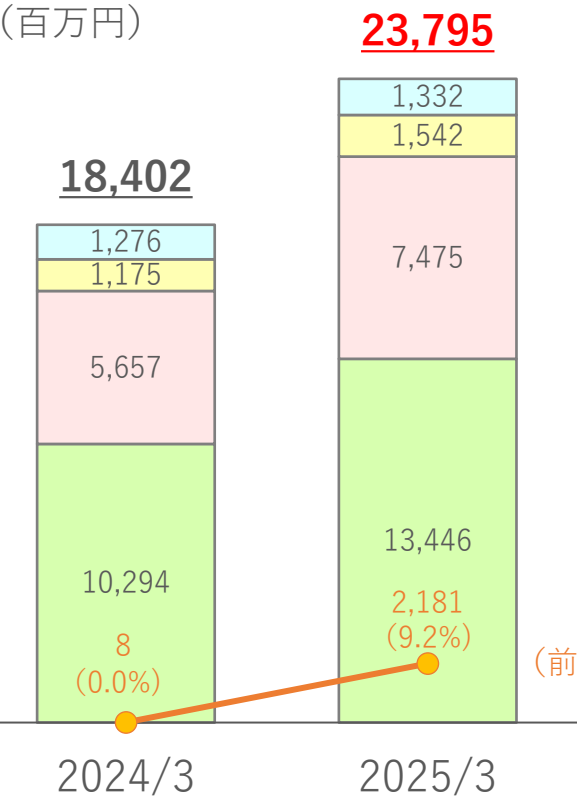
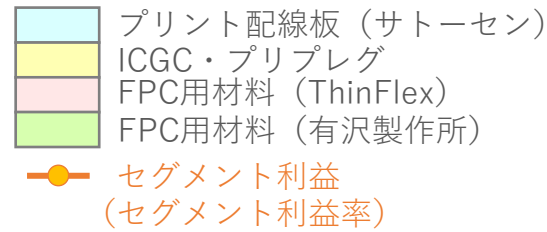
■ 2025年3月期 第3四半期の前年同期比増減分析



	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	24.3月期 実績	25.3月期 実績	増減	24.3月期 実績	25.3月期 実績	増減
電子材料	18,402	23,795	+5,393	8	2,181	+2,173
FPC用材料（有沢製作所）	10,294	13,446	+3,152			
FPC用材料（ThinFlex）	5,657	7,475	+1,818			
ICGC、プリプレグ	1,175	1,542	+367			
プリント配線板（サトーセン）	1,276	1,332	+56			
産業用構造材料	7,673	8,098	+425	890	1,412	+522
ハニカムパネル	1,425	904	-521			
水処理用FRP製圧力容器	4,362	5,552	+1,190			
その他	1,886	1,642	-244			
電気絶縁材料	1,894	1,822	-72	211	101	-110
ディスプレイ材料	2,625	3,796	+1,171	652	1,305	+653
関連商品・その他	265	271	+6	152	157	+5
合計	30,859	37,782	+6,922	1,913	5,156	+3,243
			全社費用	-1,265	-1,344	
			営業利益	648	3,812	+3,163

- ・ 連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、69億22百万円（前年同期比22.4%）の増収。
- ・ 電子材料の売上高は、スマートフォンに加え半導体の需要が回復し同29.3%の増収。
- ・ 産業用構造材料は、水処理需要が好調に推移し同5.5%の増収。
- ・ ディスプレイ材料は、3D関連材料および偏光利用部材が伸長し同44.6%の増収。
- ・ 営業利益は、売上高の増加と操業度向上により同5.9倍の増益。内容の詳細については7～9ページに記載。

電子材料 売上高



(前年同期比：273.3倍)

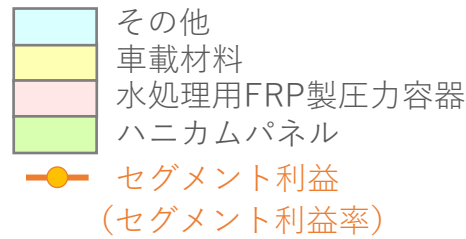
市場

- ・ 2022年下期より顕在化した、スマートフォンや半導体の需要停滞は底を打ち、回復基調が続いている。

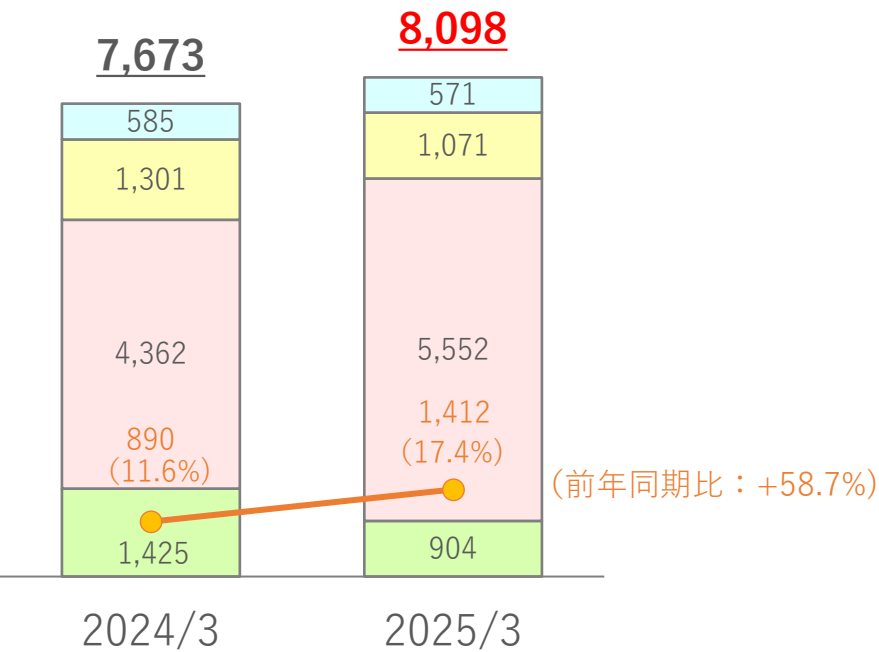
業績

- ・ FPC用材料、ICGC・プリプレグ、プリント配線板ともに増加し、53億92百万円（前年同期比 29.3%）の増収。
- ・ FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよび半導体用途の需要回復により、同30.6%増収。
- ・ FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォンの需要回復により、同32.1%増収。
- ・ ICGC・プリプレグは、同31.2%増収。
- ・ プリント配線板は、同4.4%増収。
- ・ 売上高の増加と操業度向上によりセグメント利益は同21億73百万円の増益。

産業用構造材料 売上高



(百万円)



市場

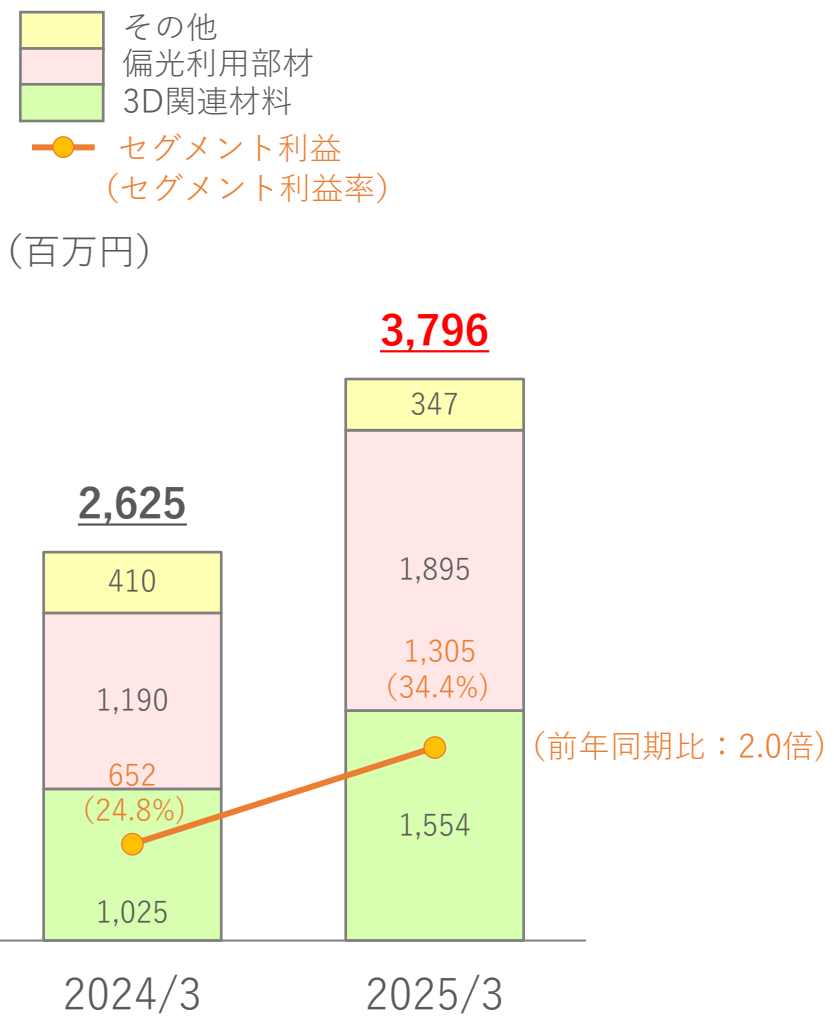
- ・世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移している。
- ・環境負荷低減に向けた新エネルギーの開発も活発化しており、当社においてもさまざまな分野の開発案件が増えている。

業績

- ・航空機内装用ハニカムパネルは、市場動向の影響を受け前年同期比36.5%減収。
- ・水処理用FRP製圧力容器は前期に引き続き好調を維持。為替の影響などもあり同27.3%増収。
- ・車載材料は、市場動向の影響を受け17.7%減収。
- ・水処理用FRP製圧力容器の増収により、セグメント利益は同5億22百万円の増益。



ディスプレイ材料 売上高



市場

- ・ 3D関連材料は、医療用モニター向けの受注が活発であった。医療用途以外への展開を図るため、産業分野の開拓を進めている。
- ・ AR、VR関連で、偏光利用部材の需要が拡大している。

業績

- ・ 3D関連材料は、受注の前倒し、為替の影響などにより前年同期比51.6%増収。
- ・ 偏光利用部材は、為替の影響もあり同59.2%増収。
- ・ 増収により、セグメント利益は同6億52百万円の増益。

■ 2025年3月期 第3四半期の11月7日予想との増減分析



	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	25.3月期 11/7予想	25.3月期 実績	増減	25.3月期 11/7予想	25.3月期 実績	増減
電子材料	23,400	23,795	+395	1,850	2,181	+331
FPC用材料（有沢製作所）	13,100	13,446	+346			
FPC用材料（ThinFlex）	7,500	7,475	-25			
ICGC、プリプレグ	1,500	1,542	+42			
プリント配線板（サトーセン）	1,300	1,332	+32			
産業用構造材料	8,200	8,098	-102	1,400	1,412	+12
ハニカムパネル	900	904	+4			
水処理用FRP製圧力容器	5,600	5,552	-48			
その他	1,700	1,642	-58			
電気絶縁材料	1,800	1,822	+22	50	101	+51
ディスプレイ材料	3,900	3,796	-104	1,300	1,305	+5
関連商品・その他	300	271	-29	150	157	+7
合計	37,600	37,782	+182	4,750	5,156	+406
			全社費用	1,250	-1,344	
			営業利益	3,500	3,812	+312

・ 電子材料が予想を上回った。
（他のセグメントは、ほぼ予想通り）

目次

- ☐ 2025年3月期 第3四半期 連結決算
- ☒ 2025年3月期 業績予想
- ☐ 参考資料

■ 通期連結業績予想（前期・11月7日予想との比較）



	24年3月期 通期 実績	25年3月期 通期 11/7予想	25年3月期 通期 2/6予想	前期比	11/7予想 比
売上高	42,114	49,200	49,200	+16.8%	±0.0%
営業利益	1,483	4,200	4,500	3.0倍	+7.1%
営業利益率	3.5%	8.5%	9.1%		
経常利益	1,488	4,300	5,000	3.4倍	+16.3%
当期純利益	1,639	3,200	3,500	2.1倍	+9.4%
一株利益（円）	49.51	96.11*	105.36**	2.1倍	+9.6%
配当金（円）	合計 60.00	合計 84.00	合計 84.00	--	--
為替レート （円/\$）	平均 140.67 期末 151.41	150.00 142.50	151.69 153.00	--	--

* 9月30日現在の発行済株式数で試算
** 12月31日現在の発行済株式数で試算

前期比

- ・ 連結売上高は、電子材料・ディスプレイ材料が増加し、70億85百万円（前期比16.8%）の増収。
- ・ 営業利益は、売上高の増加に伴い30億16百万円（同3.0倍）の増益。
- ・ 経常利益は、同3.4倍の増益。
- ・ 当期純利益は、前期に比べ有価証券売却益が減少し、同2.1倍の増益。

11/7予想比

- ・ 売上高は前回予想を据え置く。
- ・ 営業利益は製品ミックスの良化により3億円の増収を見込む。

■ 2025年3月期 通期予想の前期比増減分析



	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	24.3月期 実績	25.3月期 2/6予想	増減	24.3月期 実績	25.3月期 2/6予想	増減
電子材料	25,105	31,000	+5,895	260	2,600	+2,340
FPC用材料（有沢製作所）	13,814	16,900	+3,086			
FPC用材料（ThinFlex）	7,852	10,200	+2,348			
ICGC、プリプレグ	1,741	2,100	+359			
プリント配線板（サトーセン）	1,698	1,800	+102			
産業用構造材料	10,602	10,500	-102	1,476	1,650	+174
ハニカムパネル	1,818	1,100	-718			
水処理用FRP製圧力容器	6,044	7,250	+1,206			
その他	2,740	2,150	-590			
電気絶縁材料	2,533	2,400	-133	315	150	-165
ディスプレイ材料	3,535	4,950	+1,415	940	1,700	+760
関連商品・その他	339	350	+11	199	200	+1
合計	42,114	49,200	+7,085	3,190	6,300	+3,110
全社費用				-1,707	-1,800	
営業利益				1,483	4,500	+3,016

市場予想

- ・スマートフォンや半導体の堅調な需要が継続する。
- ・水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移する。
- ・ハニカムパネルは、下期軟調が続く。
- ・医療用モニター、偏光利用部材の需要が好調。

業績予想

- ・主に電子材料、ディスプレイ材料の売上増により、売上高は70億85百万円（前期比16.8%）の増収を見込む。
- ・営業利益は、売上高の増加に伴い30億16百万円（同3.0倍）の増益を見込む。

■ 2025年3月期 通期予想の11/7予想比増減分析



	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	25.3月期 11/7予想	25.3月期 2/6予想	増減	25.3月期 11/7予想	25.3月期 2/6予想	増減
電子材料	30,700	31,000	+300	2,300	2,600	+300
FPC用材料（有沢製作所）	17,000	16,900	-100			
FPC用材料（ThinFlex）	9,800	10,200	+400			
ICGC、プリプレグ	2,100	2,100	0			
プリント配線板（サトーセン）	1,800	1,800	0			
産業用構造材料	10,600	10,500	-100	1,750	1,650	-100
ハニカムパネル	1,000	1,100	+100			
水処理用FRP製圧力容器	7,400	7,250	-150			
その他	2,200	2,150	-50			
電気絶縁材料	2,400	2,400	0	50	150	+100
ディスプレイ材料	5,100	4,950	-150	1,600	1,700	+100
関連商品・その他	400	350	-50	200	200	0
合計	49,200	49,200	0	5,900	6,300	+400
全社費用				-1,700	-1,800	
営業利益				4,200	4,500	+300

業績予想（予想比）

- ・ トータルの売上高は据え置く。
- ・ 営業利益は、製品ミックスの良化により3億円の増益を見込む。
- ・ 電子材料は、スマートフォンや半導体向けの売上増加で3億円の増益を見込む。
- ・ 産業用構造材料は、水処理用FRP製圧力容器などの売上減少により1億円の減益を見込む。
- ・ ディスプレイ材料は、偏光利用部材の売上は堅調であるものの3D関連材料の売上が減少。ただし、製品ミックスの良化により1億円の増益を見込む。

目次

- ☐ 2025年3月期 第3四半期 連結決算
- ☐ 2025年3月期 業績予想
- ☒ 参考資料

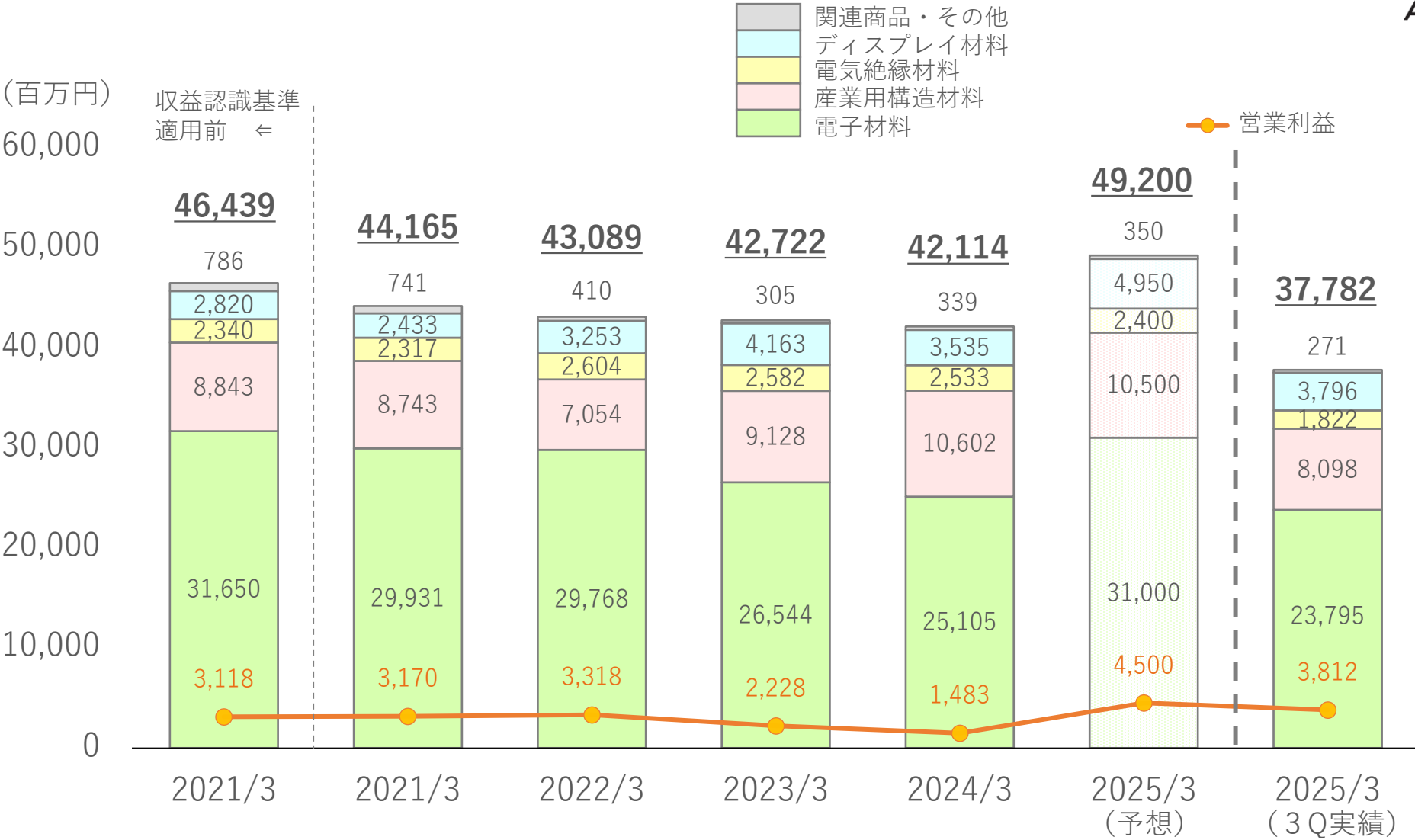
■ 会社別 第3四半期業績（前年同期比・予想比）



(百万円)

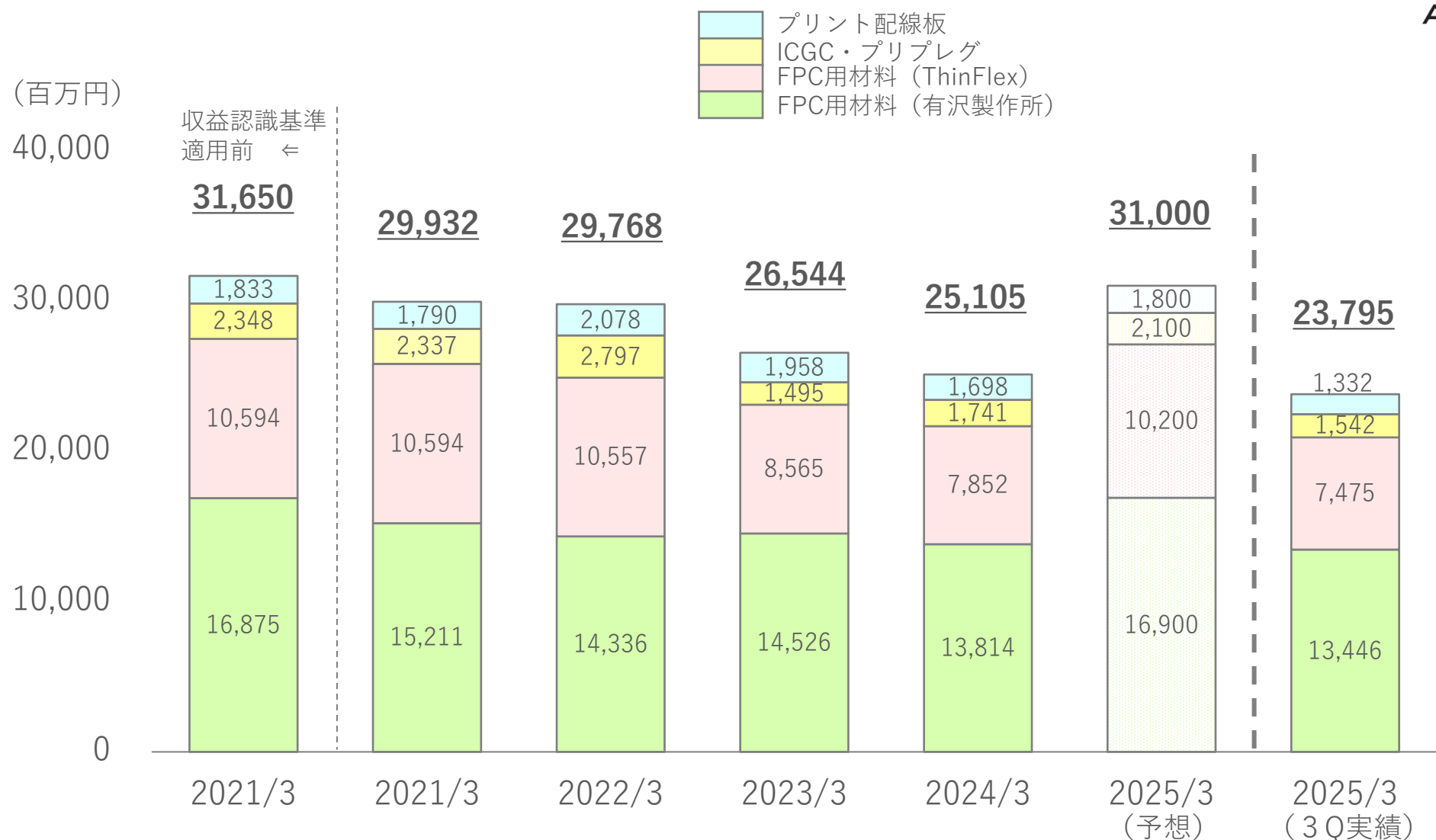
	売上高					営業利益				
	'24.3 実績	'25.3 予想 (11/7)	'25.3 実績	増減 前年 同期比	11/7 予想比	'24.3 実績	'25.3 予想 (11/7)	'25.3 実績	増減 前年 同期比	11/7 予想比
単体										
有沢製作所	19,735	22,900	23,179	+3,444	+279	539	1,700	2,068	+1,529	+368
連結会社										
シンフレックス	6,100	8,900	8,885	+2,785	-15	-502	260	254	+756	-6
サトーセン	1,278	1,350	1,333	+55	-17	8	50	37	+29	-13
アリサワファイバーグラス	1,321	1,650	1,681	+360	+31	-94	50	57	+151	+7
プロテック	4,355	5,450	5,435	+1,080	-15	521	960	955	+434	-5
有沢総業	1,340	1,400	1,433	+93	+33	81	80	83	+2	+3
有沢樹脂工業	217	200	176	-41	-24	25	0	1	-24	+1
カラーリンク・ジャパン	1,192	1,950	1,895	+703	-55	51	400	324	+273	-76
(連結消去額)	-4,679	-6,200	-6,235			19	0	33		
合 計	30,859	37,600	37,782	+6,922	+182	648	3,500	3,812	+3,163	+312

■ 年度別／分野別の業績推移（売上高・営業利益）



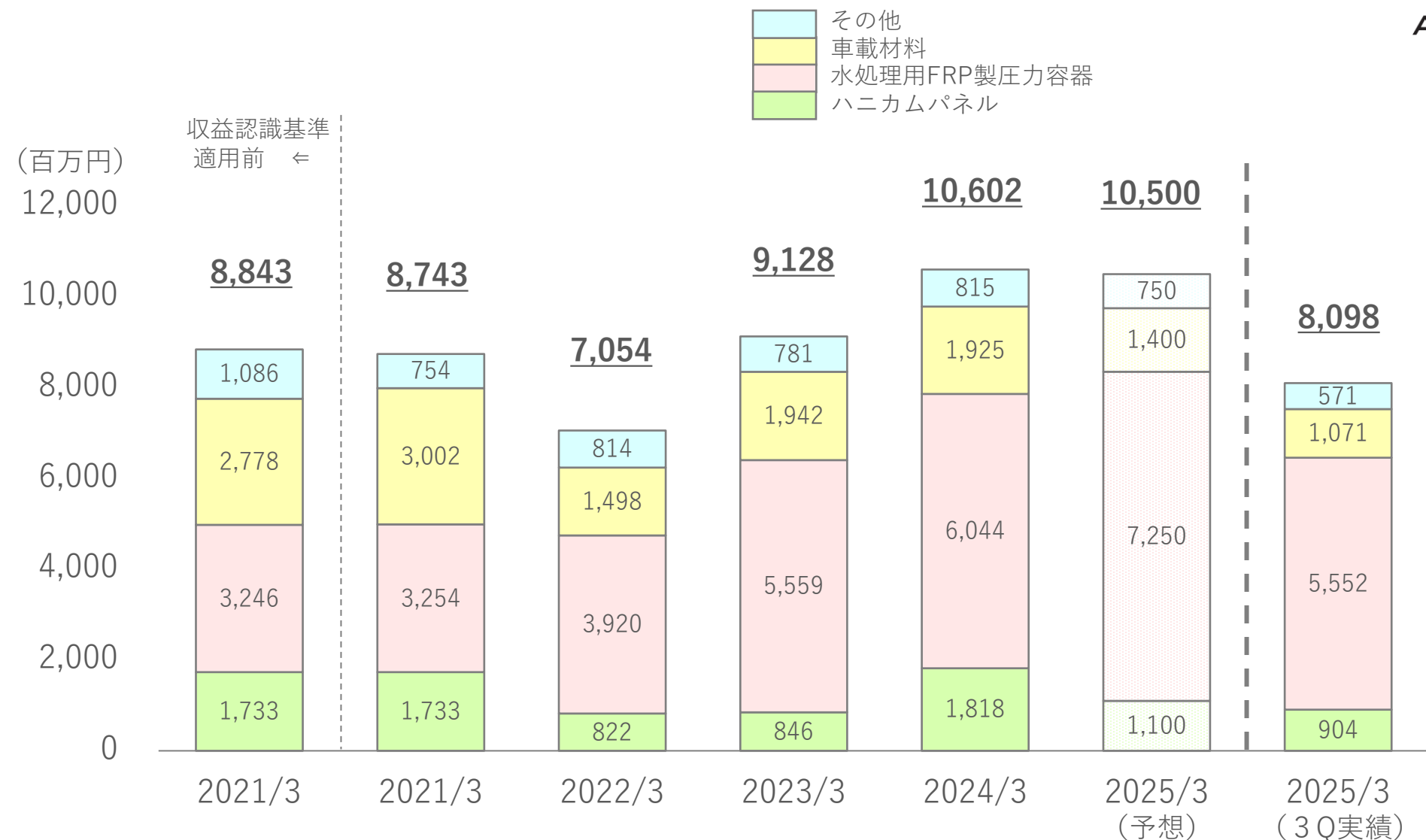
'22/3期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

■ 電子材料の売上高推移



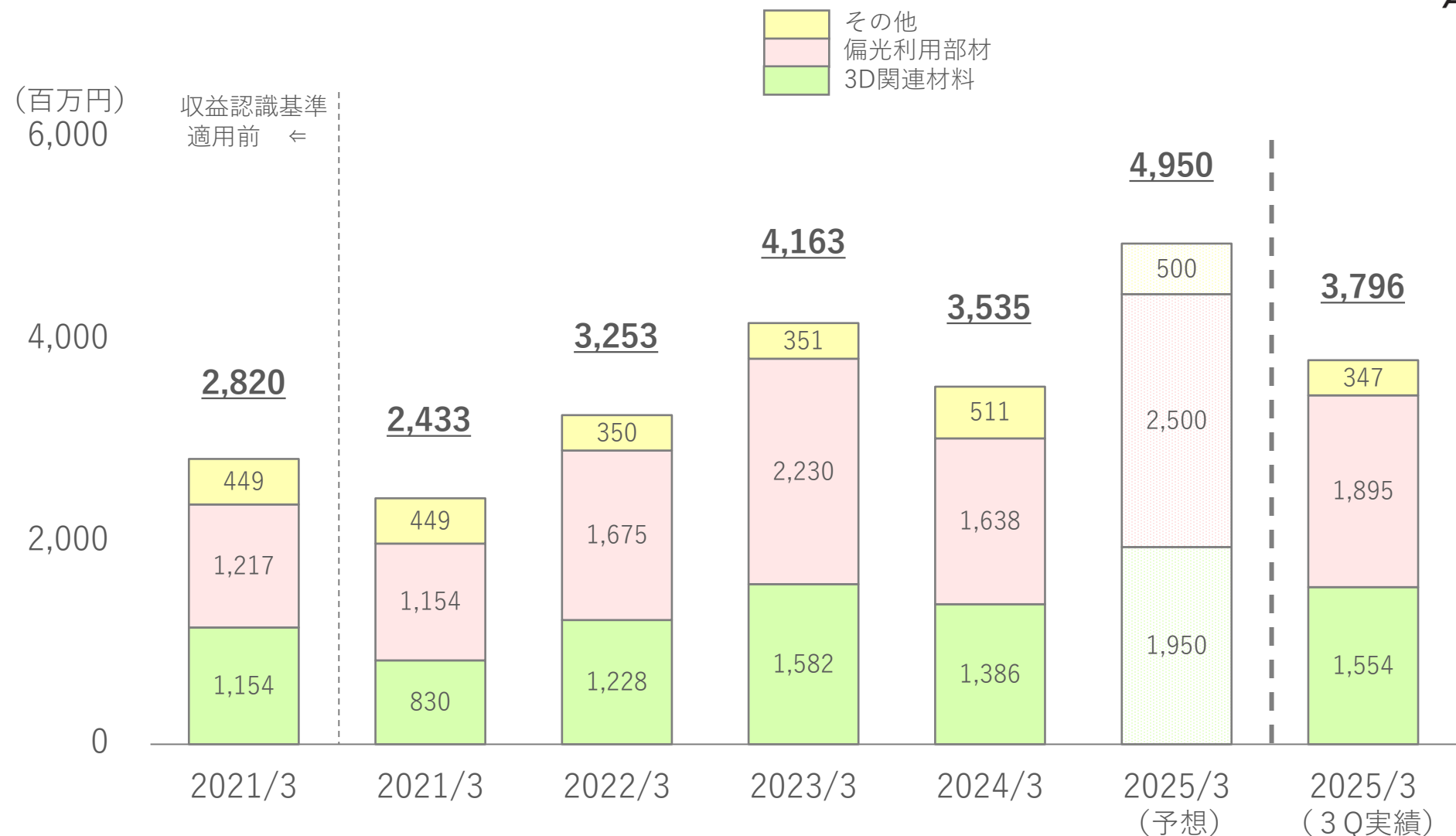
'22/3期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

産業用構造材料の売上高推移



'22/3月期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

■ ディスプレイ材料の売上高推移



'22/3月期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

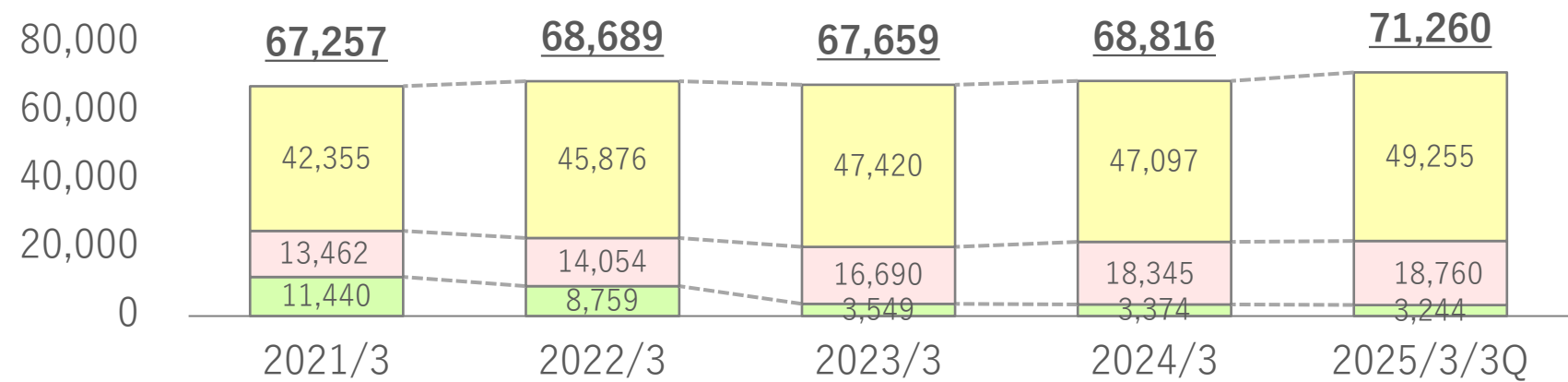
■ 連結貸借対照表（要旨）の推移



資産の部

(百万円)
100,000

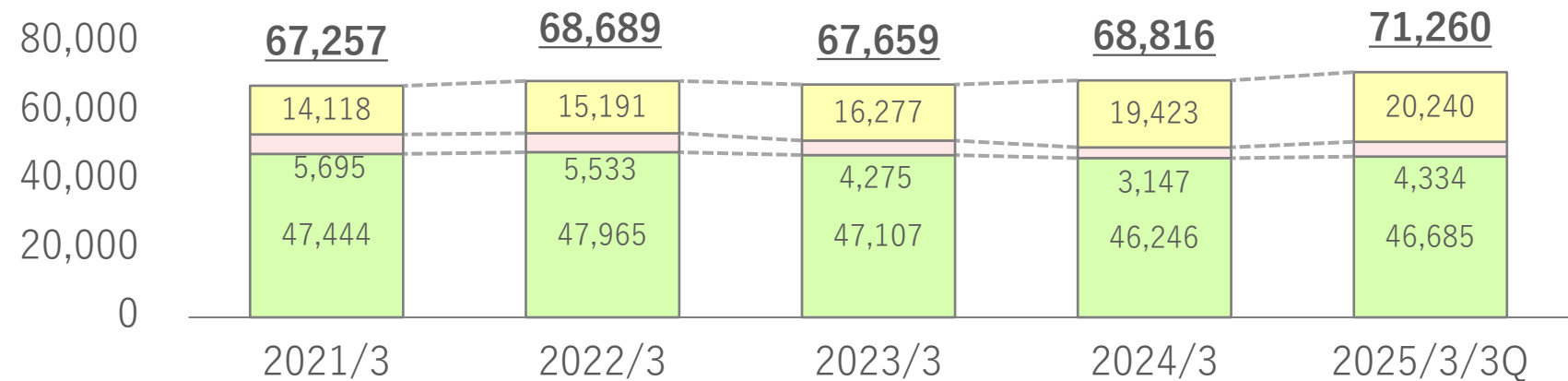
■ 投資・他資産 ■ 固定資産 ■ 流動資産



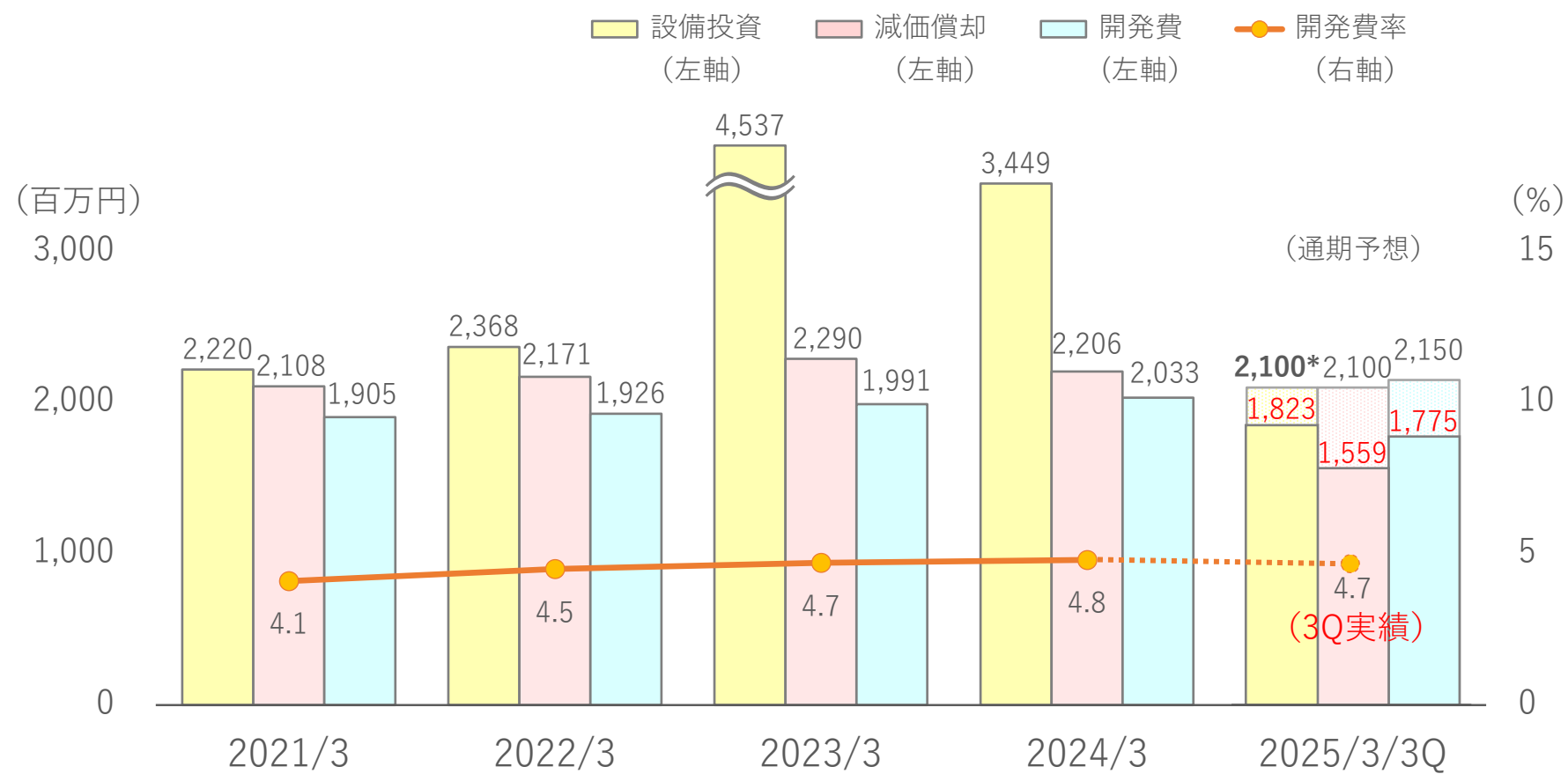
負債・純資産の部

(百万円)
100,000

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



■ 設備投資・減価償却費・開発費の推移



* 2025年3月期の設備投資／通期予想金額：5月9日発表の中期経営計画では7,100百万円としていたが、イノベーションセンター竣工が2025年7月に遅延することになったため2,100百万円に変更した。

本資料は、株式会社有沢製作所（以下当社）による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。